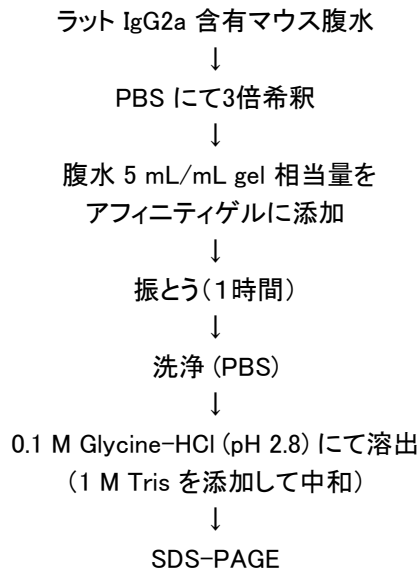
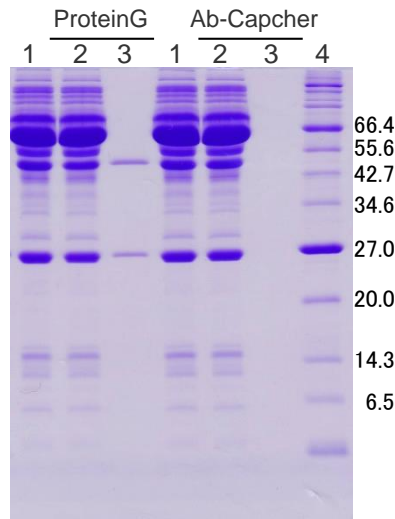


# Ab-Capcher を用いた ラットモノクローナル IgG2a の精製検討

## 精製の流れ



## 電気泳動結果



### SDS-PAGE

サンプル: ラットIgG2a 溶出画分  
ゲル: 15 % (Tris-Glycine)  
染色: CBB

1 : ×3 マウス腹水  
2 : Flow through  
3 : Eluate  
4 : MW marker

ラット IgG2a を含むマウス腹水を PBS にて 3倍希釈しゲル担体に加え、1時間振とうした。振とう後ゲルを洗浄して pH 2.8 にて溶出した。その溶出画分を SDS-PAGE にて確認したところラット IgG2a は Ab-Capcher には結合していないことがわかった。比較として使用した ProteinG sepharose は 0.58 mg/mL ゲルと結合容量は高くないが、ラット IgG2a を精製することができた。

### プロテノバ株式会社

〒769-2604  
香川県東かがわ市西村1488番地1  
TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703  
ホームページ <http://protenova.com>